

東日本手の外科研究会ニュース

Newsletter of Eastern Japan Society for Surgery of the Hand

平成18年7月31日号

July 31, 2006

●●●ご挨拶

この度、第21回東日本手の外科研究会を平成19年1月26日(金)、東京 高輪プリンスホテルにて主催させて頂きますことを、大変光栄に存じております。

1987年、第1回東日本手の外科研究会が開催され、現在会員数は約700名となりました。本会は少子高齢社会の中、かけがえのない命を基軸に真剣かつ有意義な討論を通して、より良い医療の提供に尽力して参りました。

手の外科は特に上肢運動器官障害を扱う分野であり、その対象疾患は労働災害、転倒事故、スポーツ外傷のみならず、変性末梢神経障害および骨・関節障害、腫瘍性疾患、先天異常など、極めて広範囲にわたっております。

つきましては、本分野における最新の臨床的発表と討議を賜り、実りある有意義な研究会となりますことを心より願っております。

教育、研究の基本は、人を育てるという考えにたち、日本科学技術振興財団 有馬朗人会長の特別講演を企画しております。

教育講演として、浜松医科大学整形外科学 長野 昭教授、および Hong-Kong大学 Chow, Shew Ping 教授の招聘を企画しております。

主題は、過去から未来に向かっての実証と展望という観点から、「手の外科における新しい試み」、「手根管症候群の治療選択と問題点」、「橈骨遠位端骨折の治療法の進歩」を取り挙げます。

手の外科を扱う若い整形外科医が国内・外を問わず、意見・知識を交換し、友情を高め、未来の方向性と夢を提供できるよう、討議を進めていきたいと考えております。

このような機会に、できるだけ多くの諸先生方のご参加を賜りたく、ご案内を申し上げます。

第21回東日本手の外科研究会

会長 水谷 一裕

●●●第22回東日本手の外科研究会

第22回東日本手の外科研究会の会長にご指名いただき、大変に光栄に存じあげます。

会期および会場は、平成20年1月25日(金曜日)に、新潟市に新しくできました「朱鷺メッセ」で開催致したいと考えております。冬の新潟ではなかなか学会・研究会が開催されることはございませんので、これまでにお越しになった先生方はそれほど多くないと存じます。雪国の冬ならではの風景のほか、日本海の味覚もお楽しみいただけますし、少し足を伸ばしていただければ、スキー場もたくさんございます。

この研究会では、これまで新しい試みとして発表された手術方法が、どのような長期結果になっているのか、振り返ってみる企画を思案中です。

新潟で、かつ形成外科がはじめて担当させていただく研究会が、実り多き会となりますよう、誠心誠意準備を進めてまいりますので、どうか多数の会員の先生方にご参加いただきますようご案内申し上げます。

第22回東日本手の外科研究会
会長 柴田 実

●●●運営委員会から

以下に、平成18年2月9日に開催されました運営委員会の議事を中心に記載致します。

1. **第20回東日本手の外科研究会** 平成18年2月10日、第20回東日本手の外科研究会が浜田良機会長(山梨大学)の主催でウェルシティ甲府で開催されました。参加者は約200名で盛会裡に無事終了致しました。
2. **会員動向** 新入会員は44名で、現会員数は654名となりました。
3. **会長・次期会長の承認** 会長に水谷一裕(東邦大学)が、次期会長に柴田実先生(新潟大学)が承認されました。会期は、第21回が平成19年1月26日で、第22回は平成20年1月25日の予定です。
4. **運営委員の任期満了に伴う再任** 任期が終了した8名の委員(三浪明男、吉津孝衛、宮坂芳典、楠瀬浩一、堀内行雄、浜田良機、青木光広、牧裕;敬称略、順不同)が再任されました。
5. **医師以外の入会** 医師以外の入会については、現在はこれを認める段階ではないとの意見により、当面は認めないこととしました。

(水谷 一裕)

●●●事務局

東日本手の外科研究会事務局

〒468-0063 名古屋市天白区音聞山1013 有限会社ヒズ・ブレイン内

TEL 052-836-3511 FAX 052-836-3510 E-mail ejhand@jssh.gr.jp

URL <http://www.jssh.gr.jp/ejhand/>